

令和8年 1月8日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校

校長 横山 博文

校長便り（花便り） 第13号

新年の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

まずは新年のご挨拶をさせていただきます。明けまして、おめでとうございます。年末年始、ご家族の皆様で良い時間をお過ごしになられたでしょうか。皆様の今年一年が、良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、学校では昨日の始業式で、令和7年度最後の3学期がスタートしました。3年生はもう、本日より、これも高校生活最後の学年末試験に臨んでいます。また、来週には本校の推薦入試、再来週には一般入試と、高校入試が続きます。中学生の皆さん、ご健闘を祈ります。また、その間には大学共通テストが実施され、本校特進コース受験者は、最後の追い込みに入っています。高校生活の総決算と、新たな生活に向けての準備の両方が重なるこの時期、寒さの中に次の季節への準備をする自然界と同じように、若人たちの準備も始まります。そんな、一年で最も慌ただしいこの時期が、その後の人生に大きく影響する期間だと自覚しながら、それぞれにとっての良い結果を出せることを強く願って、エールを送ります。

以下は、昨日の始業式における私からの式辞です。ニュースや報道等すでにご存じの通り、高校授業料の無償化が、所得に関わらず全国一律に始まります。それに触れた内容となっております。この新たな制度について、在校生の保護者の皆様にもまずご理解いただきたく、是非、ご一読いただきますよう、お願い申し上げます。

令和7年度3学期始業式 式辞

生徒の皆さん、おはようございます。年が変わって1週間が経ちましたが、新年の挨拶をかわしたいと思います。生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。本日より令和7年度としては、最後の3学期が始まります。すっきりと気持ちを切り替えて、学校生活中心の生活リズムを取り戻してください。

さて、今年4月から高校授業料の無償化が始まります。これまで私立高校の場合は、家庭の所得に応じて国や県からの補助金支給に差があり、完全無償ではありませんでしたが、4月からは全国全ての高校で、公立も私学も家庭の所得に関係なく、無償化になるのです。つまりもう少し分かりやすい言葉で表現すると、私立高校も公立高校と同じように、授業料はただになるわけです。もちろん、PTA会費や教材費、修学旅行の積立金等は必要ですが、私立高校において授業料が要らなくなる、ということは日本の教育行政においては、初めてのことです。これから高校教育が大きく変わる起点になると思われます。ただ、この高校授業料無償化を違う表現で表すなら、すでに全国の高校進学率は98%を超えていた今、高校までが実質義務教育化される、といえるかもしれません。では、その日本国民として実質義務教育化と同様の扱いになる高校で、身に着けるべき知識・教養は誰もが当たり前に身についているとみなされる、ということにもなるわけです。皆さん一人一人、自分自身が高校レベルの知識・教養が身につくよう、これからも勉学に励んでください。

本校も、来年度、高校授業料無償化を機に、更に大きく学校改革を進めていきます。学校は教師や大人のためにある場所ではなく、当たり前ですが、ここで学ぶ生徒のためにある場所です。その学校という場所がどういう場所であるべきか、常に考え、変われる学校でありたいと強く思っています。本年も、生徒の皆さんからの、建設的な意見があれば、どんどん校長室を訪ねてください。待っています。

では、始まったばかりの令和8年が、生徒の皆さんにとって素敵な一年になることを願つて、式辞とします。